

# 学校トイレ(男女別トイレ)

地域開放、参観日、避難等で行く機会があるので、ベビーチェアやベビーベッドや子どもの便座を整備してくれたらもっと使い勝手がいいのにな。



## ■小規模バリアフリートイレプラン

小規模ながらも一般トイレ内に最低限の車いす配慮を盛り込んだプランです。トイレの一番奥に設置した車いす利用者配慮ブースには、車いす利用者やベビーカーを引いた乳幼児連れの方にも使えるスペースを確保したうえで、オストメイトの方の排せつ物処理などに配慮し、多目的に使える汚物流しを設置しています。

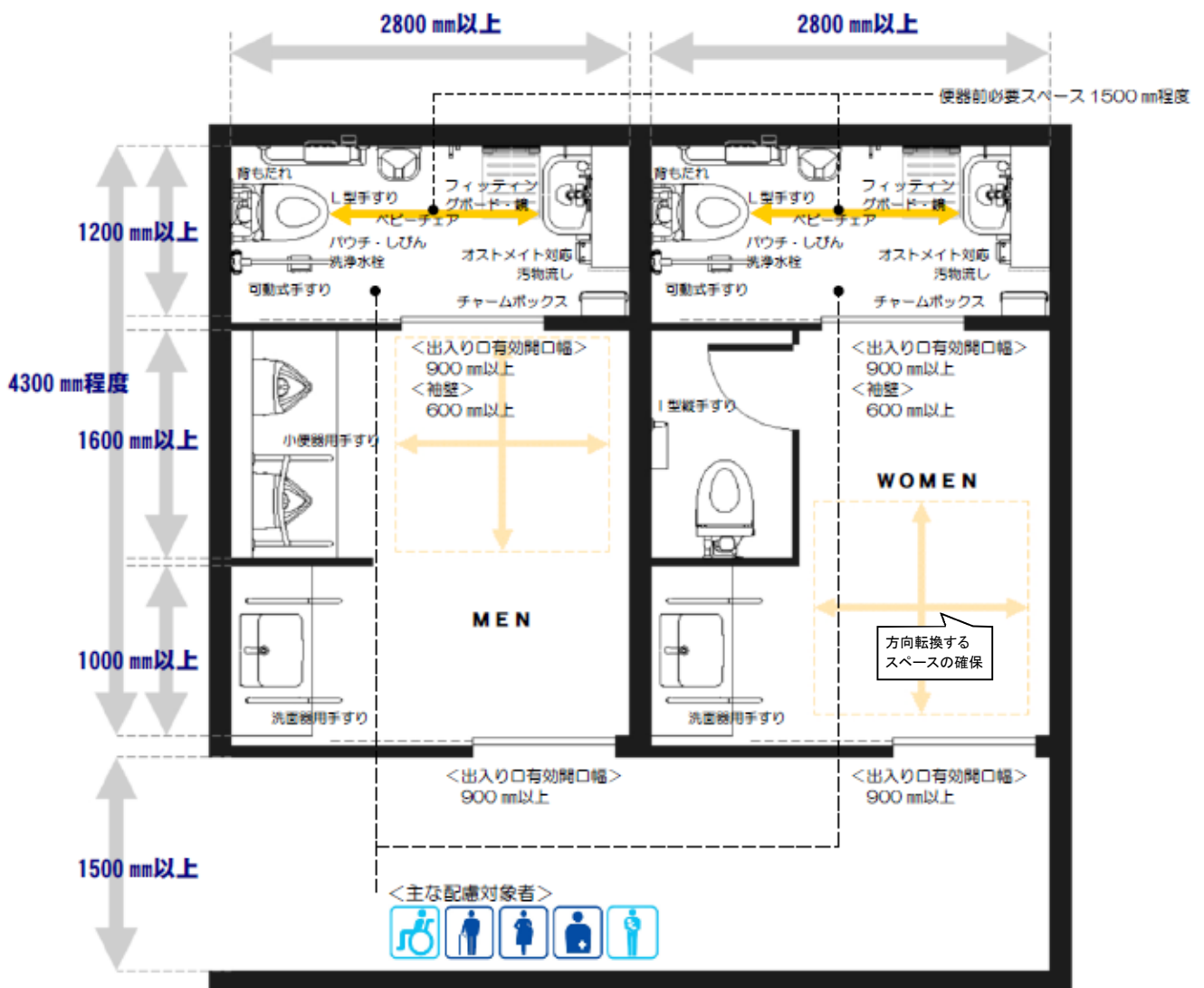
### 《ポイント》

学校は、主に特定多数の人(生徒・教職員など)が利用する施設ですが、違う目的での利用や来客などを考慮すれば、トイレについては不特定多数が利用するトイレとして考えるのが望ましいでしょう。

学校トイレは比較的大規模なものが多く、複数の選択肢を用意できますが、小規模なトイレでは各ゾーンに最低限のバリアフリー配慮が求められます。スペースが十分に取れなくても、少しの工夫で最低限のバリアフリーを可能にしたプランです。

車いす使用者配慮ブースは、車いす使用者やベビーカーを引いた乳幼児連れの方にも使えるスペースを確保したうえで、便器と向かい合う位置にオストメイト対応設備を設置することでオストメイトの方の利用に配慮した一般トイレのプランです。

- 【配慮する部分】 ①手すり・背もたれ ②壁面配置 ③オストメイト対応設備 ④洗面器コーナー ⑤棚・フック ⑥ベビーシート・ベビーチェア ⑦フィッティングボード ⑧小便器コーナー ⑨出入口 ⑩その他



※主な配慮対象者について、下図のように表示しています。

(表示マークの色について)

紺色: ほとんどの方が使えるように配慮しています。 水色: 使えるように配慮していますが、状況により使いにくい場合があります。

- 車いす使用者
- 高齢者およびつえ使用者
- 妊産婦
- オストメイト(人工肛門・人工ぼうこう保有者)
- 大型ベッド使用者
- 乳幼児連れ
- 子ども

※「福祉型トイレ」は施設の規模、用途、利用者意識などに配慮して整備することが重要であり、利用実態にあわせてプランの検討をお願いします。なお、この参考プランは小規模施設を想定しています。そのため、2000m<sup>2</sup>以上の施設とは基準(福岡県福祉のまちづくり条例)が異なりますのでご注意ください。

また、福祉型トイレの基準について福岡県ホームページに「福岡県福祉のまちづくり条例Q&A(建築物編)」に掲載していますのでご確認ください。